

税と私たちの未来

北中城村立北中城中学校 3年 山内 莉央

みなさんは税金についてどのくらい知っていますか。「税金」と聞くと少し難しくて、遠い話のように感じるかもしれません。私も中学三年生になるまで正直なところあまり深く考えたことはありませんでした。でも、最近のニュースを見ていると税金が私たちの暮らしや国の未来にどれほど深く関わっているか少しづつですが理解できるようになってきました。

つい先日行われた参議院選挙。テレビやSNSで候補者たちの演説を聞いていると、財源や消費税といった言葉が頻繁に出てきました。少子高齢化が進む日本で、医療や年金といった社会保障をどう維持していくのか、子育て支援をどう充実させていくのか。そのためには、やはり税金が必要不可欠だと改めて感じました。例えば、消費税をめぐる議論。現金を給付すべきか、時限的もしくは食料品だけ下げるなどといった意見もあれば、消費税を根本から無くそうといったそれぞれの候補者がそれぞれの立場から意見を述べていました。私たちの生活に直結するだけに、多くの人が関心を持っているのがよくわかりました。私自身も将来大人になって働くようになったらたくさんの税金を納めることになるだろうと考えると、どの選択が本当に正しいのかとても考えさせられました。

そして、もう一つ最近よく耳にするのがトランプ関税という言葉です。遠いアメリカの話と思いがちですが、これも私たちの生活に影響を与える可能性があります。トランプ大統領が特定の国からの輸入品に関税をかけるという政策を打ち出したことで世界中で貿易摩擦が起きています。例えば、もし日本からアメリカに輸出される自動車に関税がかかればその分コストが上がり、結果的に自動車の価格が上昇したり企業の利益が減ったりするかもしれません。そうなると、企業は従業員の給料を抑えたり、リストラを行ったりする可能性も出てきます。私たちの親世代の働き方にも関わってくる話でとても他人事とは思えません。国と国との間の関税も形を変えた税金のようなもので、それが世界経済全体に波紋を広げて最終的には私たちの食卓や暮らしにも影響を及ぼすのだと知りました。

私たちは、まだ中学生で直接税金を納める立場ではありませんが、将来は社会の一員として税金を納める日が必ず来ます。その時にただ義務だからと納税するのではなく、この税金がどのように社会を支え、私たちや次の世代の未来を創っていくのかを理解し、納得して納税できる大人になりたいと強く思いました。